





新鐫増補脈論口訣卷之五

○醫家ノ必用

△運氣論曰百病ハ氣ヨリ生ズルト云。
 然ルニ惣ジテ。氣ノ順流セザル則ハ
 鬱結ス。氣鬱結スル則ハ熱ス。故ニ
 諸病皆熱セスト云フオシタト
 へハ熱ノ多少アリ。表熱。裡熱アリ。
 上部ノ熱力。中部ノ熱力。下部ノ
 熱力。又ハ臟ガ熱スルカ。腑ガ熱ス
 ルカ。又ハ實熱力。虛熱力ノ分別等
 ハ脈ニテモ病ニテモヨク心得。幸也
 先諸病ヲ告来。則ハ病ノ付タル時ト。
 日ヲ問テ。子ヨリ巳ノ時ニテハ陽
 分ニ煩付ハ其病腑ニ有ヘシ。是ニソ



熱ヨリ起ルト心得ベシ。午ヨリ亥ノ
時ニテハ陰分ニ病付ハ其病ニ臟ニ
ヨリト心得ベシ。是寒ヨリ發ルト分
別セヨ。是ニモ內外ノ分別セ
ヨ。内因外因ノ事ハ書ニ存ノ間
記スニ及ハス。此外不詳外因ト云フ有
病源候論ニ委シ
△サテ次ニ病ノ起醒ヲ問テ。起醒
ノ時節ニヨリ。陽分陰分ノ分別
ヲ以テ。熱ヨリ起ルカ。寒ヨリ起
カノ事ヲヨクク辨ヘキ也。

△次ニ病者ハサガレキカ。レツカナル
カ。身アツカイユルヤカナルカト問テ。
身アツカイサカレト云ハ熱ト心得。又
レツカナルト云ハ虛シタル病ト心得ヘ

シ。身ハホメクベシ。是ハ虛熱カ。實熱カ
ノ分別ヲスヘキナリ
△病者ハクラキ処ヲ好ムカ。明キ處
ヲ好カト問ベシ。昏キ處ヲ好ムト
云ハ臟ニ病アリト心得。明キヲ好
ムハ腑ニ病アリト知ベシ

△呑食物ヲバアツキヲ好カ。又ハ
ツメタキヲ好カ。冷水ヲ吞カト問
テ。アツキヲ好ムハ底冷テ血虛シ
タル病トシルベシ。冷水ヲ好ムハ外
邪入裡ソコ熱シタルゾト心得ベシ。
是モ何レニ熱スベシ。此是ヲ客熱トス。
△次ニ病者ノ色ヲ見テ。其色ニヨリテ。
五臟ニ付テ。病ノ在処ヲ分別セヨ。

サテ脈ヲ見テ三部九候ノ分別
アルベシ。是右ニ云。望。聞問切ノ法
也。能ハ簡辨アルベシ。

△醫學子發明曰。夫百病晝ハ甚シク。
夜ハ靜成ハ。是陽ノ有餘ナリ。

△百病夜ハ甚ク。晝靜ナルハ。是陰ノ
有餘也。則血ハ病テ氣ハ病サル也。

△百病晝ハ發熱シ。夜ハ醒ルハ。是陽
氣自陽分ニ旺スルノ病也。

△百病夜ハソノ口寒ク。晝ハ意ヨキ。
是陰血自陰分ニ旺スル病也。

△百病晝ハ醒テ靜ニシテ。夜ハ發熱
煩燥スルハ。是陽氣降リテ陰中ニ
ヲチイタル。是熱血室ニ入ト云。

△百病夜ハ心ヨクシテ。ヒルハ甚ソノ口
寒キハ。是陰氣上リ。アフレテ。陽ヲ
オカスナリ。

△百病夜。晝トモニソノ口寒クハ。重
陰ニシテ。陽ナレ。スミヤカニ。其陰ヲ
瀉シ。急ニ其陽ヲ補フベシ。

△百病晝夜トモニ。發熱煩躁スルハ。
是重陽ニシテ。陰ナレ。スミヤカニ。其
陽ヲ瀉シ。急ニ其陰ヲ補フベシ。

右諸病ヲ治スルニ。脈ヲ辨ヘ病ヲ
明メ。ナラ其止ニ。此血氣陰陽ノ分

別ヲ詳ニセバ。治セスト云事ナレ
臟氣法時論曰。肝病ハ平且ハ靜ナリ
申ノ刻ハ甚ク。夜半ニ又靜ナリ

△心病ハ日中ニ意ヨク夜半ニ甚ク
平旦ニ又レツカナルベシ

△脾病ハ戌ノ刻ニ心ヨク日ノ出ニ
甚ク申ノ刻ニ又レツカナリ

△肺病ハ申酉ノ刻心ヨク日中ニ甚
ク夜半ニレツカナリ

△腎病ハ夜半ニ心ヨク丑未辰戌ノ
刻ニ甚ク申ノ刻ニレツカナリ

右是相生相尅ノコトハリ也

△又曰肝病ハ丙丁ニイユ丙丁ニイエ

サレ疾辛ニツヨシ庚辛ニ死サレ

バ壬癸ヲダモツテ卯辰ニ起ベシ

△心病ハ戌巳ニイユ戌巳イエサレ壬

癸ニツヨシ壬癸ニ死サレ巳甲シラ

タモチ丙丁ニ起ベシ

△脾病ハ庚辛ニイユ庚辛ニイサレ

甲シニツヨシ甲シニ死サレ丙

丁ヲタモチ戌巳ニラクベシ

△肺病ハ壬癸ニイユ壬癸ニイサレ

丙丁ニツヨシ丙丁ニ死サレ戌巳

ヲタモチ庚辛ニラクベシ

△腎病ハ甲乙ニイユ甲シニイサレ

バ戌巳ニツヨシ戌巳ニ死サレ庚辛

ヲタモチ壬癸ニラクベシ

△又曰肝病ハ夏イユ子ノ火親ノ賊

邪ノ金ヲ制スル故也夏イエサレ

バ秋ニ甚シ子ノ火休メ賊邪ノ金

秋ハ旺スル故也秋死サレバ冬ヲ

タ

タモソ。賊邪ノ金休ノ母ノ水旺スル
故ニ春ニテリテラク。肝木自其他ヲ
ウル。故ニウクル也

右此肝病ニ餘藏ノ病ナゾラヘ可
知

○醫者止病家ニ出スノ法

凡醫者イマダ病家ニ入ズシテ先
ロフス、ギ手ヲ洗ヒ。天ニアライテ
祝スベシ。門ノ中ノ通ニ立ヘカ
ラス。坐スル時壁ニヨリカ、ラス臥
時ヲビラトクベカラス。衣裳ヲロ
上ニテ覆フベカラス。婦事ノ念ヲ
オコスベカラス。貪欲ノ心ヲ生ズベ
カラス。瞋心ヲ生ズベカラス。飲食ア
ラハ必ハカユキニ食セズイキニテ。フ

イテ。其後册ユズシ。行事アラズ。歩
ヲシツカニスベシ。初テ出ルルノ
時。アハタ、シクトモ。其病上ヲ問
極ムベシ。行事ノ緩急其品ニシタ
ガフベシ。古語曰。醫者不入於刑官
之家。藥者不療於不仁之病。ト云
然レハ刑戮ヲ專トシ。慈悲ノ心ノ
ナキ者ニハ。天道ヨリ。大病ヲソツカ
ラ来ル。故ニ醫者出入スベカラス。藥
モ又因果ヲ以テ生ズル病ヲハ治ス
ル。一ヲユルサズ

○諸病ノ悪候

凡病者是ノ甲。是ノ裏腫。身重ク
大便タモタス。眼ハ腫ヲ轉シ身ノ

悪クサキハ皆死証ナリ。マカブラ
ヲチ入目。鼻其。口黒ク危々ノ夕
ハ言云イ。又一尙ニ物イハズ口ノ
マクレイルハ危シ。又久病ニ兩ノ
頬赤キハ。口ヲアキハリ息ス
クニ足膝ハレフクレ。身體ハレテ。小
便イテ。面ハ赤ク。眼ハ白ク。面青ク
目黄ニ眼ニ光ナク。面先青クシテ。
後ニ黒ク。齒莖黒ク。鼻ノ下人中
アトナク。唇青ク。身冷シ。ヒリイ分
シ。衣ヲ摩。床ヲ搜リ。食事ヲ見テ
ウレロムキ。髪スクニ。麻ノ如ク。ウナシ
ノ筋ノビ。手ノ中ニ皺ナク。手足ノ爪
青ク。黒皆骨。ヒイラキ。腰痛。三面

黒ク。目白シ。唇ユガレ。腫テ黒シ

右此病証多クハ死証也

○五藏ノ絶症

肝絶ノハ面腫青黒ク。舌一ガリ。筋
手足ノ力弱ク。目ニイ涙多シ

心絶ノハ面ツシ三黒ク。唇ニテ息シ。

目見張手ノ中皺ナク。タハコトツキ

脾絶ノハ臍腫足ノ甲腫。面黄腫。大便
下ルヲ不知。肌レブリ。唇ソル

肺絶ノハ口鼻ヨリ息出テ。カヘラス。唇
ソリ。皺ナク。皮毛コカレ。爪カル。ナリ

腎絶ノハ面黒ク。齒痛。三日。汗出
ル。木ノ如ク。腰ヲレ。皮肉ヤハラカニ

髪カル。ナリ。已ヒ久病ニ此症
アレバ必ス死スヘキ也

心ノ實ハ脉サカシ也。心ノ虚ハ脉細キ也。
肺ノ實ハ皮熱也。肺ノ虚ハ皮寒也。
脾ノ實ハ腹ヲクシ堅シ。脾ノ虚ハ飲食不納。
腎ノ實ハ二便通ゼス。腎ノ虚ハ二便不持下。
肝ノ實ハ目暗ク。肝ノ虚ハ鼻息少。
右五藏ノ實宛若藥ニテ二便漸通
シテ。腹和クハ生ベシ。五藏ノ虚宛若藥
ニテ少シ食事モヲサマリ。二便モ漸
トニシラハ生ベシ。

○諸病胃ノ氣ヲ多ク事

大藥ニテ病ヲ治スルニ其藥忽スクニ
病ノ処ニ行事ナシ先胃ニ入テ變化
メ漸ク病ノ処ニ行タトハ病ヲ見分
脉ヲトリ明メ必効ノ藥ヲ與フルニ

効ナキハ胃ノ氣虚ノ藥カシ運化
セズ徒ニ二便トナリ下ルベシ其時
ハ水病ヲ閣キテ胃ノ氣ヲ調ヘテ
本病ハ減セスト云トモ少食者ノ心
有ハ倍ハ胃ニ力出來リト心得テ
本病ノ藥ヲ用ズレ其ニモ胃ヲ多
スクル藥ヲ少加フベシ

○兩腎ニ補ノ分別

左ノ腎ハ水ニ屬シ右ノ腎ハ火ニ屬
スル故ニ腎虚スレバ水スクナクナリ。
身ノ内燥ク命門虚ノハ下焦ノ陽
氣衰ヘ小便タモチガタク精氣漏シ
易ニ然レバ世ニ房事ツレニ食事ツ
スクタシナム者ハニナリ故ニ精血カク

損ニ相火タカブリ旺ジテ。虛損勞瘵
嗽血等ハ發ル。故ニ丹溪ハ補陰ノ説ヲ
アケス。左腎ノ水ヲ補フ古方ノ補藥
多ハ右腎ノ相火ヲ補フ。但世人ノ病
火旺ニタル者。十人ニ九人アリ。火衰
ノ病。百人ニ二三人モナシ

○倉公三死ノ説

史記百一卷列傳曰淳于意
字ハ倉公扁鵲同時ノ人也

病ニ藥ヲ服スルコトヲウチカハサル
ハ是レノ死証也

巫ヲ信メ醫ヲ信セザルハニノ死也

身ヲ輕メ命ヲウスクレ敬ニサルハ是
ニノ死証也

如此ノ輩ハ証テ藥ヲ與ヘ療治スル云

トモ効ヲ得ガタシ

○未病ヲ治スルノ説

言ヲツシニ。飲食ヲ節ニシ。風寒ヲ
防キ形ヲ勞セス。心ヲツクサズ。房事
ヲ遠サク。右是ヲ未病ヲ治スルノ太
道也。丹溪云。病有テ後治療セシ
ヨリハ敢テ病ナキヲ攝養セシハ
シカレト。又肝ノ病ヲ見テ脾ニツタ
ヘシコトヲ知テ。アラカジメ脾ヲ健ニス
是モ未病ヲ治スルノ一途也。委ハ内
經陰陽應象大論ニ見ヘタリ

○六失ノ論

醫ヲ信セサルニ失シ。療治ノ遅キニ
失シ。醫ヲ擇ハサルニ失シ。已上三

病者ノ失也。○病ヲ知ラザルニ失
ニ。藥ヲ知ラサルニ失ニ。詳ニナラサ
ルニ失ス。已上三八醫者ノ失ナリ
右六失ハ本州細目ニ見ヘタリ

○養生ノ論

衍義云。養生ノ道多シト云。凡約ニ
シテ是ヲ云ニ其術三アリ
一ニ神ヲ養フニ氣ヲ慎ミ三ニ防病
○神ヲ養フ云ハ智惠ヲサリ。貪欲ヲ
滅シ七情ヲ忘シ。諸事ヲステ。恬
澹無ニテ。眞ヲ全クスルヲ云ナリ
○氣ヲ慎ムトハ元氣ヲタモチ。精ヲ
漏サス。眼耳鼻舌身意ヲ悉思シ
識界ヲムナレクスルヲ云也

○病ヲ防グトハ飲食ヲ節テ。温涼ニ
カナイ。四時ニ至ニ分ノ八節ニ。虛邪
賊風ヲツシ。ミシイテ。寢シイテ。晷ヘ
カラス。已上各イカニモタヤスク行ヒ安
ナレトモ。世ニ行フ者希也

○稽康カ云。穠年ニ病多シ。飢年ニ
ハ疾少シト。寔ナル哉。偽リナラス
○關中土地ノ俗ハ。方トモシキニ依テ
食ノ味薄ク。其人病少ク。命ヲガシ
江南嶺表ハ。諸事ユタカニ充満シ
テ。山海ノ珍物具ラスト云。一ナ
シ。故ニ其人疾多シテ。早死ス。遊
宦シテ。彼ニ至ル者。ユタカナルニツイ
テ。ロヲ慾ニシテ。病ヲ生ス

私云近代飢年二疫癘疫癘ス。
右此論違フト云凡天下依二體
飢ヲ苦是天地ノ氣循環世サル
二依テ七情勞倦シテ外邪ニサ
ソハルナルベシ元氣ヲツヨクセハ時
疫癘疹ノ時花物ハ通ルベシ然ハ
累年ノ例ニハアラサル一歟
右云二體テ食事ヲツシムベシ古語
曰病ハロヨリ入禍ハロヨリ出ルト。
道林カ云食スル時語ルヘカラス語レバ
胸背共ニ痛ム。卧テ多言笑フヘカ
ラス五臟ハ鐘ノ如シ不懸トキハ舌ヲ
發スヘカラス行トキ語ヘカラス若シテ
足ヲトムベシ語ナカラ行ハ氣ヲ失ス。

朝トクヲキタラバヨキ事云ヘシ晨
ニ空腹ヲ錢ヲカソヘカラス食事
ハ少ツ細々川ユヘシ頓ニ多開ハ
消シガタシ食スルゴトニ諸肉ヲ重
用ユヘカラスヨク飯ヲ食シテ啜菜
ヲ少ク用ユヘシ然ラバ百病ヲ生
飢滿シテ即卧バ消スシテ積聚
トナル食シ終ラバ手ニテ面ト腹トヲ
サスル津液流通ス暮ニ卧時常ニテ
ラヒテロヲトツベシロラ開ハ氣ヲ失
邪惡入ルシクノ消渴トナル又血ノ
壅ヲ失ス唾ヲ遠ク吐ヘカラス手足
ヲモク背痛ムウエタル時ハ跪テ小
便ス。飽滿ノ時ハ立テ小便スヘシ是ラ

ツ、レハ無病也飽滿レテ髪ヲ濯
ヘカラス飢テ湯ヲアフル事ナカレ冬
至ノ日人來リ問フ有ハ答ヨ自物
ヲ云ヘカラス常ニ不足ナリト思フ
ベカラス若不足ナル心ヲコレトモ是
ヲオサヘヨ人ト不足事ヲ知レハ天道
ヨリ其禄ヲクルナリ。康桑楚
云聖人声色滋味ニラケル。性ニ
和アル時ハ是ヲトリ。性ニ善アル時
ハ是ヲスツ。是全性ノ道ナリ
○至機微義云六月八未ニ属ス土
大ニ旺ス土旺スル時ハ水ニ衰フ又腎
水ノ母肺金也腎水ノ不足ヲハ
肺金是ヲ補助ス故ニ古人ハ五六

月柳宿淡味金水ノ二藏ハ火土旺ス
ルヲキラフ心脾也。又十月ハ亥ニ属
シ霜月ハ子ニ属ス陽氣トチカク
テ真元ヲ養フ。春發生スベキ
モトヲナス。此時房事ヲ慎ミ元精
ヲ損ハサル根本盛シテ氣カク
シクウカバスイツクシテ温熱ノ病有シ
○暮テハ努ム飽滿スルヲナカレ湯ア
ビ髪アラヒ風ニ當ルヲナカレ燈火
ヲカケテ淫事ヲカスヲナカレ
臥終テ燈火ヲトムヘカラス

○五藏ノ補瀉

肝ハヒキツルヲ苦ム。甘州ニテユ
ルクセヨ。若散セント欲セハ川芎ニテ

散世ヨ、細辛ニテ補へ、芍薬ニテ瀉
せヨ

△心ハユルギ事ヲ苦ム、五味子ニテ納
ヨ、若、軟ナラシメテ欲せ、八、苦、楮ヲ
以テヤハラナク、沢瀉ニテ補ヒ、人
参ニテ瀉スヘシ

△脾ハ温ヲ苦ム、白朮ニテ乾ス、ユルヤカ
ナラシメテ欲せ、八、苦、州ニテユルクス。
人参ニテ補ヒ、黄連ニテ瀉ス

△肺ハ氣ノ逆トスルヲ苦ム、黄芩
ニテ下ス、モ、納シテ欲せ、八、芍、藥
ニテ納ヨ、五味子ニテ補ヒ、桑、白、皮
ヲ以テ瀉スヘシ

△腎ハカクヲ苦ム、知母、黄柏ニテ

潤ス、若カクカラシメテ欲せ、八、知母ニ
テカタメヨ、黄柏ニテ補フ、沢瀉ヲ
以テ是ヲ瀉スヘシ

○臍府ノ火ヲ瀉スル藥種

△黄連ハ心火ヲ瀉ス、木通ハ小腸ノ火
ヲ瀉ス、山、梔、子、黄、芩、八、腑ノ火ヲ瀉
ス、○黄連、黄芩、八、太、陽ノ火ヲ瀉ス、
○柴胡ハ肝ノ火ヲ瀉ス、○柴胡、黄
連ハ膽ノ火ヲ瀉ス、○白芍藥ハ脾ノ
火ヲ瀉ス、○石膏ハ胃火ヲ瀉ス、知母ハ
腎ノ火ヲ瀉ス、○黄柏ハ膀胱ノ火ヲ瀉
ス、○柴胡ハ三焦ノ火ヲ瀉ス

○十劑ノ事

△宣通補瀉經五滑澀燥湿也

▲宜ハ癰ヲ去ヘシ。生薑、橘皮ノ屬也。
 ▲通ハ滯ヲ去ヘシ。木通、防己ノ屬是ナリ。
 ▲補ハ弱キヲ去ヘシ。人參、羊肉ノ屬是也。
 ▲瀉ハ閉クラ去ヘシ。葶藶、大黃ノ屬是也。
 ▲輕ハ寒ヲ去ヘシ。麻黃、葛根ノ屬是也。
 ▲重ハ怯ルヲ去ヘシ。磁石、鉄漿ノ屬ナリ。
 ▲滑ハ著ヲ去ベシ。芫花子、桐白皮ノ屬也。
 ▲澁ハ脱ヲ去ヘシ。牡蠣、龍骨ノ屬是也。
 ▲燥ハ濕ヲ去ヘシ。桑白皮、赤小豆ノ屬也。
 ▲濕ハ枯ルヲ去ヘシ。白石英、紫石英ノ屬也。
 ▲寒ハ熱ヲ去ヘシ。大黃、朴硝ノ屬也。
 ▲熱ハ寒ヲ去ヘシ。附子、官桂ノ屬也。

○五味ノ用

▲苦キハ瀉ス。酸キハ收ム。辛キハ散ス。鹹ハ

軟ク。甘キハ緩クシ。發ス

○食前後服藥ノ分別

△病上焦ニアラバ。食事ヲ先ニ。藥ヲ後ニスベシ。

△病中焦ニアラバ。藥ヲ先ニ。食事ヲ後ニスベシ。

△病下ニアラバ。藥ヲ火ツ。頻數ク用

△病下ニアラバ。藥ノ間遠ク。二度ニ多用

右食前食後トアレバ。トテツケテ

ハ用ユベカラス。食氣消シテ。藥ヲ用ニ

氣散ジテ。食事ヲス。メヨ。病手足ノ

血脉ニアラバ。朝空腹ニ藥ヲ用ユベシ。

病骨髓ニアラバ。夜中飽滿ノ上ニ藥

ヲ用ユベシ。

○藥氣藥味ノ分別

△藥氣厚キハ陽中ノ陽也。其能ハ發熱ス。辛甘キハ温熱ノ類也。

△藥氣薄キハ陽中ノ陰也。其能ハ發泄ス。辛甘キハ平寒ノ類也。

△藥味厚キハ陰中ノ陽也。其能ハ泄ス。酸苦鹹ハ寒ノ類也。

△藥味薄キハ陰中ノ陰也。其能ハ酸苦鹹ハ平ノ類也。

氣ハ天ノ陽ナリ。清タリ。故ニ上ニシタニクニテ升^{ノボ}ラシ^テヲ發スル也。

味ハ地ノ陰ヨリウチタリ。故ニ下ニシタニクニテ下^ラシ^テヲ發スル也。人ノ神氣ハ陽ヨリ請^{ツテ}タリ。故ニ神氣ノ虛ニ

タルヲハ藥氣ニテ專^ニ治スヘシ。人ノ形陰ヨリ請^{ツテ}タリ。故ニ形ヲトクハタル人ヲハ專^ニ藥味ニテ可^レ治ス。

○生熟ノ分別

△頭面及手足ノスエ皮層ノ病ヲ治スルニ黃芩。黃連。黃蘗。知母ノ類ヲ用ニ

ハ酒カヲカルベシ

△下焦ヲ治シ。裏ヲ治スルニ生ニテ用ユ

ベシ。大黃ハ大便結スル用藥也。胃氣

弱キ人ハ酒ヲソ、ギ、ツイノ用ユベシ。知

母。地黃ハ下部ノ用藥。虛人久病ナ

トニ。胃ノ氣ヲタシテ。故ニ酒ノカヲカ

ル也。右諸病ヲ治スルニ。此生熟ノ別

習^テ意^ヲ得^{ヘシ}

○藥根三停ノ分別

△苗ヲ生ズル処ヲ根ト云。上焦ニユキ。脉上ニユク。尾サキノ方ヲ梢ト云。下焦ニユキ。脉ノ下ニユク。根ト梢トノ間ヲ身ト云。中焦ニユク也。右用藥ノ時。常帰。防風ノ類ニ根ヲ用。尾ヲ用ト云ハ是也。

○湯丸散ノ論

△煎藥ニ酒ヲ加ルハ至高ニ至ラシメンノ意也。始ヨリ入レハ藥ノ味アレクナル也。煎ジテ後ニ入ルナリ。
△生薑ヲ入ルハ濕氣ヲサラシガタメ也。
△棗ヲ入ルハ元氣ヲ補ハシガタメナリ。
△葱ノ白ヲ入ルハ風寒ヲ發散ス也。

△小兒ノ尿ヲソユルハ上焦ノ火ヲクダサシガタメ也。醫書ニ童便ト有。
△散藥ハ風冷ヲ散スル心也。腹中ニ至シサキニ口中。咽喉ノ間ノ氣ヲ散ス。後内腹ニ納シメシガ爲也。若手足ノ病久クナラズ。表裏ニウツリ趨ハ散藥ヲ以テ是ヲ平ク下焦ヲ治スル散藥ナラハ鹽湯ニテ用ヨ方中散藥ノ処ニ。二刀主トアラハ方寸ニスクヒノ事也。惣ジテ唐ニ一兩トアルハ和ノ十錢自ナリ。
△丸ハ緩也トテ。積聚癥瘕ヲノカスニリ痛ヲユルクトスル意也。其病ノ在処ニ至リテユルクトケテ效有。

上焦ノ丸藥ハイカニモ火ク丸テヨシ。
下焦ノ丸藥ハ大ニ丸メテヨシ。中焦ノ
丸藥ハ中ホトニ丸テ用ユベシ。調糊ハ
イカニモ強キ糊ナリ。建クトロカシテ。
下焦ニイタラシメンノ意ナリ。糊ヲ酒
ニテ子ルコト。升散サセシメンノ用也。
蜜丸ノ意ハ諸藥ヲ調和シ中ヲ補
ヒ脾ヲ入ヘシメン爲也。酸糊ハ收斂
サセシメン爲也。○黃蠟ニテ藥ヲ丸ス
ル意ハ腹中ニテトロケ難カラシメン
爲也。タトエバ毒アルノ藥ニテ。下焦
ノ病ヲ治スルニ蜜ニテカ。糊ニテカ。
丸スルハ病ノ有処ニテ至ラズシテ
サキニ上焦中焦ノワガヒヲナス故ニ

黃蠟ニテ丸スル也。○姜汁ニテ糊
ヲ子ヤス意ハ濕ヲサラン爲也。スハ
半復ノ毒ヲ消シシメンノ故也。

○煎藥生熟ノ分別

△夫急病ヲ治スル瀉下發散ノ藥ハ。
一包ニ水一升入タラハ七分バカリニ成
テ用ユベシ。藥性ヲサノミ。子リヤワラ
ケシトノ意也。中ヲアタメ。下焦ヲ補
藥ヲ煎ズルニハ一包ニ水一升五合バ
カリ入テ七分ホドニ煎ジツメテ用ユ
ベシ。藥性ヲヨク子リ熟センタメナリ。
藥ヲ少シクアツク用レハ消下シ安シ。
ヌリケレバ胸ニアタリ。カラエツキヲナ
ス。方ノ藥ヲ煎シ。藥ヲ水飛シ服ス。

洗フ水ナドニハ必井華水ヲ用テ
ニ。麩イニダ汲ザルサキ。一番ノ二瓶
クミタル水也

○服藥ノ服ノ食法

△夫煎藥ヲ用テ病ヲ療治セシハ。
其間ノ粥。飯。及野菜イカニモ軟カ
ニ煮過シテ用ヨ。ナニケレハ藥性
ヲ損ズ。又滑シガタケレハ胃氣ヲ苦
ニシムル。又其間ハ塩。醋ヲウスクシ。魚
鳥野菜ヲ常ヨリモスクナノ用ユヘ
シ。又心ヲツクサスカヲ勞スヘカラス。
服藥ノ間ハ只專ニ藥ガヲ始トスニ

○六陳

△狼毒。臭茱萸。半夏。橘皮。枳實

麻黃 已上六種イカニモフルキヲ用。
藥性強クテ毒アル也

○八新

△紫蘇。薄荷。菊花。桃花。赤小豆
槐花。澤蘭。疑冬花

已上陳キヲ用サレ

○十八反

△芍藥。苦參。人參。沙參。玄參。細辛

右六種藜芦ト相反ス

△半夏。瓜蒌。貝母。白及。白朮

右五種烏頭ト相反ス

△大戟。芫花。海藻。甘草

右四種芫州ト相反ス

已上此ヲ十八反ト稱ス。誤用ルテ無

○銅鉄ヲ禁ルノ藥

○葶藶 龍膽 茜根 桔樓 五味子

麻黃 芍藥 知母 牡丹 香附子

藜蘆 商陸 槐花 皂莢 石榴皮

雷丸 猪苓 疾藜 藜蘆 桑寄生

棟子 已上 鐵器ヲイム

○地黄 玄參 益母草 肉豆蔻

已上四種ハ銅鉄共ニイム

○辰砂 雄黃 已上二種ハ銅ハカク忌

○禁火之藥味

○青黛 犀角 茵陳 茜根 羚羊角

柴胡 木香 雲母 芒消 禹餘糧

鍾乳 朴消 滑石 雄黃 香白芷

菊花 川芎 藍葉 甘松 赤石脂

桂心 丁香 乳香 白檀 藿香

檀香 麝香 牛黃 薄荷 紫艸

沉香 胡椒 已上火ヲイム藥ナリ

火ニアツレハ人ヲ殺モアリ又用レ

ドモ効ヲ得ルイナレ認ルヘカス

○五葷ノ藥味

△肺ノ寒ニハ干姜 白朮 紫苑

同熱スルニハ貝母 車前 木通

△心ノ寒ニハ遠志 石菖 茯苓

同熱スルニハ麥門 黃連 生地黃

△肝ノ寒ニハ細辛 阿膠 菊花

同熱スルニハ山梔 地床 决明子

△脾ノ寒ニハ木香 枳殼 丁香

同熱スルニハ柴胡 枳殼 人參

腎ノ寒ニハ杜仲トウチュウ 鹿茸ロウキョウ 鬼絲子クワイシ

同熱スルニハ沢瀉タクシャ 草薢ソウバク 石斛シキ

凡藥味調合ノ指南様々在之中

二七考へ知べきハ一君一臣三佐五

使ト云フ有。世間流布ノ諸書ニ

委シ。尤藥性能毒詳ニ給フベシ

○諸灸捷哥

腦重ク頭痛目ニハリカナク。肝

出ハ百會灸セヨ

○百會トハニツノニツノニツノ

咳逆シ喘氣ヲレツハ咽モナリ。胸ニ

氣セカハ天突ノ穴

○天突ハ咽ナル高キ骨ヨリモ

三寸下ヲアヲノケテアトレ

△曲池ヨリ二寸手サキハ三魚ニテ

ノビカハニセズレビルハニ吉

○曲池トハカイナク節ノヲセカニ

△腹モハリ。脇ニ積アリ足タル。痺氣

ニ瘦ハ章門ノ穴

○章門ハ心バサニラレ上足ヲ

カメテアヲノケテサスナリ

△胸アケレ。公セケモアリテ食事サハ

降ラヌ人ハ乳根ノ穴

○乳根ハ乳ヨリ一寸六分シモ

クホメル処アヲノケテサセ

△腹堅ク。上氣嘔血。痲積ト。産後

惡露ヒエハ石門

○石門ハ臍ヨリ二寸下ニアリ

△水腫ニテ。臍ノハハリモ腫痛ニ。胸サ

腹モ鳴ハ水分

○オカハ臍ヨリ上ソ一寸ソ
セソウヨリハセス九寸キク
臍ツク咳逆上氣喘嗽ハ花蓋ノ穴ニ
レクソソナキ

○花蓋トハ胸ナル高キ骨ヨリモ
五寸下ナリアツクテトシ

△胸ツカエ咳逆短氣咽モナリ。乳ノタラ
サルハ臍中ノ穴

○臍中ハ兩ノ乳ノアイニ中ゾ
氣ツモリカハキムスルニモヨシ

△臍血シム子臍ツカエ痛ニナリ。霍乱
吐利ハ巨關ノ穴ニ

○巨關トハ鳩尾ノ穴ノ下ヨリモ
一寸ニアリセソウヲセヨ

△腹ノ内ヒキツリ痛ニ不食シテ。臍ノ
積ニ不答ナルベシ。

○不答トハキウビノ下ノ一寸ニ
墨ヲ点ジテ脇ヘ一寸

△身モ寒ク又ハアツクテ心ホレブルヒヲ

病ハ陰都ナルベシ

○陰都トハキウビノ下ノ一寸ニ
墨ヲ点ジテワキヘ一寸

△唾ハキ。大便ケツレハラマス。血痛
ハ石關ヲセヨ

○石關ハキウビノ下ノ一寸
ワキヘ五分ノ下ヘ一寸

△積ニハ。胃。氣不足シ食ヲ吐キ
腹ヲ痛ハ足ノ三重ゾ

○三重トハ膝ヨリ下ノ三寸ゾ
目ヲ明カニ氣ヲソメクラス

△不食シテ。腹脹。腰膝筋痛ニ起
居ナラズハ懸鐘ノ穴

○懸鐘ハ足ノ外踝ノ上三寸
縫骨陽輔ニツナリケリ

△腹フクレト上氣シ喘ギ臍ノ氣ト
唾ニ血アル人ハ養滿

○養滿ハキウビノ下ノ一寸ノ
ワキヘ一寸下ノ一寸

△多嘔吐トニテ。口モユガミテアケビレテ
俄ニ瘖トナラハ通通谷

○通通谷ハキウビノ下ノ一寸ノ
ワキヘ五分ノ下ノ一寸

△悲悲ニテ。樂レスシ。嘔ラク。手足ヲ
サシラザルハ形形

○日月ハキウビノ下ノ一寸ノ
ワキ一寸五分ノ下ノ一寸

△膝膝痛ニ。小便レアリ。身モヲモク
足ヒユカヌニ陰ノ穴

○二二陰ハ上上ニ寸
骨ノ内ヲクホミツアル

△不不食シテ吐逆シ。ツバキヨダシタシ
膿血下ラバ門門ノ穴

○海海門ハキウビノ下ノ一寸ノ
ワキヘ一寸五分ニツアル

△嘔嘔吐シテ。不食腹ハリ氣モツマリ
驚悸痰痛スレハ上上管

○上上腕ハキウビノ下ノ二寸ナリ
血ヲ吐人ニ三ツタラセヨ

△手手足ヒエ。積聚エツキテ物クハズ
ホガ三堅クハ中中極ノ穴

○中中極ハ臍ヨリ下ノ四寸ニテ
小便利ヒヌ人ハナラセヨ

△物物クハズタイテモ。又ハ吐逆シ。嘔ノ
氣アラバ中中極ノ穴

○中中庭ハ臍中ノ下一寸ニ
飛腎嚙テニハツレザルニ

△寒寒積ト。尿ニ血ヲレホガ三寒。癆
氣虛冷ハ關關元ノ穴

○關關元ハホソヨリ下ノ三寸ツ
丹田ナレバ虚ニ六寸ニ

△頭頭ニテ。寒ツ痛ニツ白ク余ヤ目ニイ
顔髪腫ハ顛顛會

○顛顛會ハ眉ノ中ヨリ上ヘ
五寸ナリナリニツタラセヨ

△胸胸膈モ滿塞リテ息ハヤシ喘喘ナリ

エツキスル八璇環ソ

○璇環トハ咽ノ骨ヨリ下四寸

三壯スルソアラノチテト

△胸ヤギ神氣ツカレテ癩癩ヤ在乱

ス穴軌尾ナルベシ

○旭尾トハ胸ノハツレノ腋骨ノ

下ノヤ五分三壯ヲセヨ

△瘦ツカレ手足モヨハク積堅ク氣

遊上ハ氣海ナルベシ

○氣海トハ臍ヨリ下ノ五分下リ

小腹ノ氣ニ寒ハ七壯

△頭風ヤ三眩クツベ皮モハレ見ノ顔

痺前頂ヲセヨ

○前頂ハバチノ中ヨリ上へ

六寸ナルゾ三壯ヲセヨ

△痺氣ヤ三小腹モ痛三便レフリ赤

白帶下交儀ナルベシ

○交儀トハ内踝ノ上五寸

スニヨリ内へ五分ヨリテソ

△赤白帶ニ食滯ス面青クハ天

樞ヲ灸

○天樞ハホソノ廣サヲ一寸ニ

定テワキヘ一寸トシレ

△五淋ヤ三尿モ黄色木腫蒲白血赤

血ハ曲骨ノ宛

○曲骨ハ臍ヨリ下ノ五寸ナリ

康ニタルハ三七壯ヲセヨ

△胸ヲクシ息タハレクテ食ニ吐皮骨

ノ痛ハ中府ナルベシ

○中府トハ咽ナル高キ骨ヨリモ

下へ五寸ワキへ六寸

△腰重クタ之筋ツリ寝カヘスアロビ

カニススハ足ニコソアレ

○ヒツカニシラレメノ所ノハレニ有

ニ火ヲ一ドニ三壯ヲセヨ

△腹痛三起脚ナラズクビ痛ニ子レカレ

ズハ大布ヲルベシ

△頭風ヤ三。目メクリ。血マニスレテス。
 バナタラハ。風門ヲセヨ。
 △咳唾血。肺癆。喘嗽。胸ヲケシ。寢ス。食
 セス。寒ハ。肺ノ愈。
 △咳逆。此。胸塞。不食。ニ。腹滿。
 イ子ス。胃ノ寒ハ。肺。
 △胸膈モ。サエテ。舌ノ強ルニ。嘔吐不
 食ハ。臍ノユラセヨ。
 △氣短。イカリ。胸滿。弱ニ。入。咳逆。嘔
 血。肝ノユラセヨ。
 △腹モ。ハリ。食事モ。有テ。手足。瘦。タル
 クホメキテ。ヨク。イ子ハ。脾ヨ。
 △胸膈モ。寒テ。ツカヘテ。食事。ナク。瘦
 ヲト。口ヘテ。腹。ナルハ。胃ヨ。

△世ナ。痛。身熱。腹ニ。痛。ニアリ。背
 毛。腰。強キ。三焦。
 △勞瘵。マ。セ。ナク。瘦。テ。腰。痛。三。起。臥
 ナ。ス。積。ヒ。五。腎。
 △腰。世。ナカ。強ク。重ク。テ。又。シ。ビ。腹。痛。使
 ノ。堅キ。勝。七。
 右各一寸五分
 △胸。背。ヒ。ト。ツ。ニ。痛。ニ。子。ビ。カ。ズ。ガ。攪
 盧。冷。理。戸。ナル。ベ。シ。
 △手。モ。冠。モ。重ク。火。氣。ニ。物。ク。ス。世。ナ。カ。強
 ハ。至。陽。ナル。ベ。シ。
 △至。陽。ト。ハ。第。七。ズ。イ。ノ。下。二。有
 只。一。穴。ゾ。七。壯。ヨ。セ。ヨ。
 △癩。在。マ。レ。リ。ア。リ。キ。テ。指。イ。カ。リ。見。ノ

在癰身柱ノ穴

。身柱ハニズイノ下ノ穴ヅ
是ヤニトクチリチナリケリ

△驚癰ヤ。巖走レツ、訃ヲ、ク。目ノ介
ソラメスルハ筋縮

。筋縮ハ九スイノ下ノ一穴ヅ
ウツフキテサレ五壯灸セヨ

△足蹶ク。腰モ重タク筋ツリテ。身ノ
カナワスハ委中ナルベシ

。委中トハヒツカミノウチノ筋
ニツノ骨ノアイクホニツ

△頭痛ヤ。三。身ニ虚熱レテ愁アリ。日
ニセフルヲハ神道ヲセヨ

。神道ハ五推ノ下ノ一穴ヅ
物カナレクハ七ツウヲセヨ

△癰癰ヤ。背モ、タハ胸ツカハ虚損ニ
子スハ諱諱ヲ灸セヨ

。イキノ穴。六推ノ下ノ一穴
皆六寸ソソ五ツウナルベシ

△俯仰セズカ。胸背腰痛。三。氣ノ
遮上ハ神堂ヲセヨ

。神堂ハ五推ノ下ヲ四方へ
三寸ツツソ。五壯ナルベシ

△虚熱レテ。頭痛。寒熱ヲコリマニ
腰腹痛ハ。命門ヲセヨ

。命門ハ。四ノ推ノ下ニアリ
只一穴ソソ三ツウヲセヨ

△ソノ口寒ク。胸脇脹リテ嘔吐レテ下。
脊痛クハ。意舎ヲ灸セヨ

。イヒヤハ是尤ズイノ下ヲ右左
三寸ツツソセソウヲセヨ

△腰ケヤミ起ブレテ。便シズリ。感
寒スルハ。胞背ノ穴

。胞背ハ。十九ノ推ノ右左
三寸ツツソ五壯ナルベシ

△頭重ク。目ハ。ハリク。ラク。風寒ヲ。ニス
人ニハ。後項ナルベシ

○後頂十八ニテアノ中ヨリ上へ
九寸五分ソシウラセヨ

△腰フクレレビレ腰膝筋ヲモクヒカバ

ニズハ兼山ノ穴

○モサシハ内踝ノ上六寸
ソレヨリ内ノ中ソカシ

△癩瘡ヤ邪氣ニヲカサレ鬼ノ痔秘灸

ノ三次ニシクフゾナキ

○両ノ手ノ太指ヲ下へ押並
爪ト肉トノカドヲ一処ニ

△風ホロシカイナモノビスカニラジ

細クカレテハ曲池ナルベシ

○曲池トハヒチノラレメノ糸糸也
手クビヲ胸ニ付テ七壯

△足ノ筋俄ニ痛ミヒキツリテコゾラ

ガヘリハ秘灸一壯

○内ノスチ痛ムハ内ノ踝ヨ
外ヲ痛ムハ外ノクリヲ

△足痛ミレヒカニラズ足堅ク膝上足

トノカナハヌハ巨虚

○巨虚ノ穴足ノ三車ノ下三寸
骨ヨリソトノ大スチノ内

△モ、膝モ腰尻ハギモ重クヒレビレ

スクミテカナハヌハ風市

○風市タチテヒザノ外ナル筋ノイ
中指ノサキントクトコロヲ

△疝氣ニハ右ヲカエヨ 經乱枯タルクバ

足ノ陰蹻

○陰蹻ハ足ノ内踝ノ下ノキス
クホニソアルニ此ヲモ

○小兒諸灸捷哥

○顛癩ハ旋毛ノ内風癩ハニ中ヨリ寸看

○解頰ハ臍ノ上下五分ツ乳ヲ吞ガル天突穴

○癩癩ハ皆惡疾ゾヤク皆鳩尾ノ下寸ニアリ

○久癩ハ足ノ大指ノ其次ノ外ノ糸ヲ三世ヲモ

○癩眼ハ手ノ谷也大指上ノ次ノ糸トシモトカリ及

○久冷癩秋フルニモ止マズヨリ下ノ寸三寸

○水腫ニホソヨリ上ノ寸ヲ夏癩ハキトクナルニ

○臍腫八疔ヨリ地ニテ立テト一其ヲ背中ニテ
 ○急驚風ニテ中ヨリ七寸ナルニセテ夕
 ○乳ノ穴中庭ノ穴ニ壯ノ量中ヨリ八寸ノ一寸
 ○截目ノ手ノ大指ノ中ノ折目ノ内ノカドニ壯
 ○ス、中人ノ脈ノ風ナレハ眉ヨリ上ノ五寸額會
 ○急喉風天突ノ穴ニ壯ノノトノ骨ヨリ下ノ三寸
 ○臍ハ八寸ノ崑崙三壯ノ内踝ノアトノ五寸目
 ○臍壯ニ血滯ニテ腹モ痛ニ百會カメ尾ニ壯
 ○心不足五六寸ニテ物イ久五推ノ下ヲ左右五寸
 ○痘疹ノニヨシハ大推ノ下ヲ左右二寸半ツ
 ○水ノハ上推ノ下左右三寸ツツコレヤ陽明
 ○不食ニテモ勞ニテテラ瘦ハ三推左右ツ

○尺寸ヲ定ル法

△男ハ左ノ女ハ右ノ手ノ中指ノ第二節
 上ノ折メト下ノ折メノ間ヲ其ノ公
 ノ一寸ト定ル也折メニ内外アリ

頭指ノ方ヘ向ヒタル折メヲ可取無
 各指ノ方ヘ向タル取ヘカラス中指
 ヲ屈メ取ル屈スルニ口傳アリ可知

○髮際ヲ定ル法

△凡人ノ髮際ノ分明ナルハ子細ナシ如
 髮拔テ明方ナヌラハ兩ノ眉ノ正中ヨ
 リ三寸上ヲ前ノ髮際ト定ム背ノ
 大推ヨリ三寸上ヲ後ノ髮際ト定也

○大推ヲ定ル法

△大推ヨリ上ニ小推一ツアリ或ハ二ツ
 アリ又一ツモナキモアリ大ノ字ニ心ヲ
 付テ取ヘシ又口傳アリ肩トヒトレキ
 ヲ大推ト定ムヘキ也

○禁灸ノ穴

天和三癸
亥曆晚春日

梅村彌右衛門



右禁灸在丁巳五穴寸分八諸書三出九故
鬼受文血忌人神ノ日等ヲ禁ニ記スル不爰



